

院内感染対策ニュース

第62号 平成30年10月16日
院内感染対策委員会

シーズン到来！インフルエンザ みんなで予防 インフルエンザ

すっかり涼しくなり季節はもう秋。北海道の秋はあっという間に過ぎていきますね。そしてやってくるのが冬の感染症シーズンです。今年はインフルエンザによる学級閉鎖がすでにいくつか報告されています（本州）今回は流行シーズンに入る**インフルエンザ**について取り上げます。

インフルエンザとは

インフルエンザウイルスによる感染症。
A型・B型・C型があり、**主に流行するのはA型とB型**。
Aから流行が始まり2～3月にはBが増えてくるのは通常の流行です。**症状は発熱・咳・倦怠感・咽頭痛**
発熱後約1週間で治癒します。



インフルエンザの検査・治療

検査は30分程で結果が出る迅速検査。
陽性の場合抗ウイルス薬を内服または吸入します。内服・吸入ができない患者さんは点滴もあります。**内服は5日間、吸入は1回**です。



簡易キット

インフルエンザ発症までの流れ



インフルエンザの感染経路



インフルエンザ？と思ったら

インフルエンザは**発熱後12時間以上経過しないと検査で陽性となりません**。そのため、発熱してすぐに検査をしても陰性となってしまいます。発熱後は、自宅待機で仕事・学校は行かないで下さい。行ってしまったことで職場や学校にインフルエンザが広がってしまう危険があるからです。

仕事や学校のお休みは？

インフルエンザは**原則発熱翌日から5日を経過かつ解熱後2日経過するまでは学校や仕事を休む**必要があります（当院職員はこれを適応）。これは**感染拡大を防止するために必要なこと**ですのでご理解の程よろしくお願ひします。



発熱外来のご案内

流行期（11月頃を予定）には**発熱外来を開始**します。**発熱している方は総合案内へ申し出て下さい**。また、発熱や風邪症状がある方は**マスク着用**をお願いします。職員も発熱時は必ず受診して下さい。

インフルエンザワクチンは**接種後、約2週間で抗体を獲得し、5ヶ月程度効果が持続**するといわれています。しかし、ワクチンはインフルエンザにならないためのものではなく、**症状を軽くする**ものです。**ワクチンを接種しても、人ごみを避け、手洗い・マスク着用を心がけましょう。**



*** 入院患者さんがインフルエンザを発生した場合、感染拡大防止のため個室に移動、または医師の判断で一旦退院し、改めて入院していただくことがあります。**面会の方もマスク着用、手指消毒、必要時以外の面会は極力ご遠慮下さい。感染防止のためご協力をお願い致します。

